

4. 地理空間情報基盤の継続的な整備・充実

⑨高精度測位時代に不可欠な位置情報の共通基盤「国家座標」の推進

施策の概要

- 高精度かつリアルタイムな衛星測位を活用したDXの取組が急速に進んでいる。これらを含めたあらゆるDXの取組で使用される位置情報が互いに整合し、システム・サービス間のデータ連携を容易にし、ひいては産業の発展につなげるため、位置情報を整合させるための共通ルール「国家座標」に準拠した3次元・4次元の地理空間情報を誰もが容易に整備・利用できる環境を整備する。
- このため、民間等電子基準点の登録制度の普及促進、地殻変動補正の仕組みの精度向上や安定的な運用の確保、3次元点群データの整備等を進める。

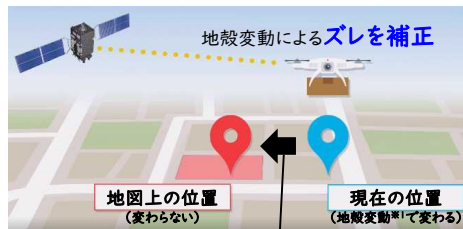
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
<ul style="list-style-type: none"> ・電子基準点網を安定的に運用、民間企業等が設置したGNSS連続観測局の性能評価を実施 ・電子国土基本図・基盤地図情報を継続的に整備・更新 ・3次元点群データの整備 				
航空重力測量による重力データの整備	新たな標高の基準の整備	新たな標高の基準の提供		
地殻変動補正情報の空間分解能向上の検討		地殻変動補正情報の空間分解能向上、精度検証、実証実験	地殻変動補正の仕組みの安定運用	

民間等電子基準点の活用推進



民間等電子基準点の登録制度により、信頼性の高い位置情報の流通

国家座標に基づく地理空間情報の高度活用基盤の整備

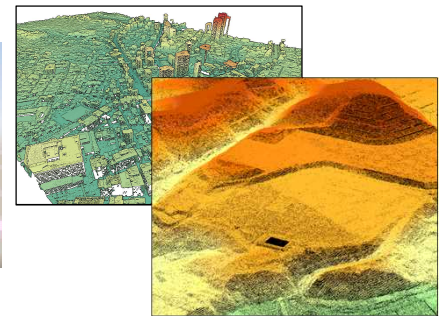


※1 東北地方沿岸では最大で年間7cm程度 (時期・場所によって大きく異なる)

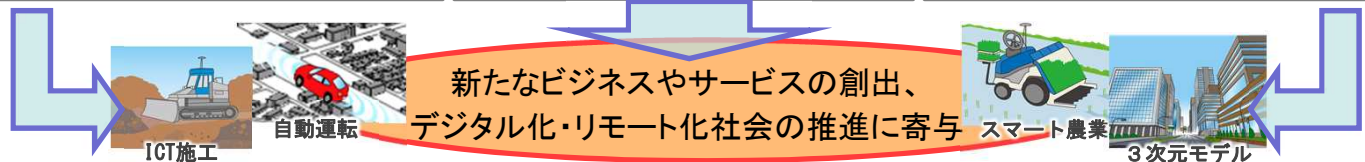
※2 国内では最大で2m程度のズレ

国家座標に準拠した位置情報をどこでも容易に利用できる環境を整備

高精度標高データの整備



3次元点群データの整備に活用可能な3次元点群データを整備



重要業績指標(KPI)

目標値

- ・民間企業等が設置したGNSS連続観測局の性能評価数 [令和4年1月現在: 75件]
- ・3次元地図の整備に活用可能な3次元点群データ整備面積 [令和3年度から整備開始]

- ・約3,000件(令和8年度)
- ・約11万km²(令和7年度)

担当部局・関係機関等

担当部局 : 国土交通省国土地理院